

橋をわたっていこう！

Setouchi misaki drive

瀬戸内 山岬めぐり

感動の絶景をたどる旅



発行：一般財団法人 本州四国連絡高速道路協会

<http://honsikyokai.main.jp/>

せとうち観光再発見!

検索



徳島 蒲生田岬

高知 横浪半島・仁淀川流域

愛媛 佐田岬半島・内子・大洲・卯之町

広島 安芸灘 とびしま海道・竹原・西条

香川 荘内半島・善通寺・観音寺

兵庫 赤穂御崎・万葉の岬

この先になにがある。 はじめての感動が待つ 岬をめぐる。

はじめての道をとるとき、
いつも期待で心がときめく。

海沿いの道を辿れば、先のまた先になにがあるか、
だれもがその眼で確かめたくなる。

瀬戸内には、

日本一の長さを持つ愛媛の佐田岬半島をはじめ

徳島の蒲生田岬に高知の横浪半島、

香川では浦島伝説が残る荘内半島、

夕日に息をのむ兵庫の赤穂御崎、

そして広島に行けば安芸灘を

縫うように走るとびしま海道など、

絶景と感動の岬がある。

車窓から見える変化に富んだ海岸線、

どこまでも広がる水平線の美しさ。

そして岬の端は、

なにもさえぎるものがない360度の大眺望。

瀬戸内の岬をめぐるクルマ旅。

きっと、いままでになかった

感動体験になることだろう。



未知にであう道をいこう



●各ページのドライブデータは、出発都市の中心地から岬近くまでのおよその走行距離を算出したもので、実際と異なる場合があります。かかる時間には道路事情や休憩時間等は加えていません。

●岬および展望台等に行く道路では、道幅がかなり狭い箇所もあります。また、岬灯台には急な階段などを利用する場合がありますので、現地を確認してください。

◎愛媛県の「佐田岬半島」から望む絶景。

ウミガメたちが

たどりつく感動岬に。

室戸阿南海岸国定公園に位置する蒲生田(かもだ)岬は四国最東端の岬だ。橋湾をはさみふたつある岬の南側は、ウミガメの産卵地としても有名。岬の灯台に立つて眺める水平線の彼方から、すごいエネルギーを感じられることだろう。

徳島市街地から南下、
岬を目指そう。

蒲生田岬へは国道55号で市街地を抜けて南下、表示を手掛かりに半島の道を目指そう。緩やかでアップダウンも少なくドライブは快適。時間もさほどかからない。シンボルモニュメントの「波の詩」が見えたら目的地の岬に到着。



灯台入口にある駐車場にクルマを止め、山の緑と潮風を身近に感じながら、散歩感覚で灯台まで行ける。遊歩道の広場で二服とりながらゆっくり回り込むのがオススメだが、健脚なら約40メートルの石段に挑戦するのもいい。灯台からは雄大な太平洋の白い波しづきが美しい。天気がよければ遠く和歌山の「日の岬」や大鳴門橋、淡路島まで見通せる。この大海原をウミガメたちが泳いできたかと思うと感動だ。

釣り場探しは 対岸の椿泊で。

絶景に感激したあと、時間が許すなら半島の北側、

対岸に見える漁師町・椿泊(つばきどまり)を訪ねてみたい。かつては阿波水軍の大將だった森家の拠点として栄えた由緒を持つ。釣り糸を垂らすのにもいいポイントがある。ただ海と山が迫る

地形のため漁港が近づくにつれ道幅が狭まり、かなり慎重にハンドルを握りたい。大型車の乗り入れは控えたい。絶景とノスタルジックな気分。蒲生田岬の旅は異なる魅力で楽しませてくれる。



岬の立ち寄りスポット



道の駅「公方の郷なかかわ」

ドライブのひと休みなら、バイパス55号に面したここがオススメ。地元の新鮮野菜や魚介類に阿南市はじめ、徳島の名物、特産品が勢ぞろいする。情報コーナーもあり、休憩を兼ねて蒲生田岬に向かう前に観光情報を仕入れるのにもいい。
●阿南市那賀川町工地803
☎0884-21-2631



椿泊(つばきどまり)の町並み

蒲生田岬の北対岸にある椿泊は、阿波水軍の城下町だったところ。蜂須賀氏に仕えた森氏二代目の村春が「松鶴城」を築き、朝鮮出兵や大阪冬の陣で活躍したエピソードが残る。いまはハモ、タチウオ、伊勢海老漁が盛ん。湾内の穏やか風景を眺めながら、釣り糸を垂らすのも一興だ。



日和佐うみがめ博物館カレッタ

蒲生田岬からさらに南に走れば、ウミガメの産卵地として有名な日和佐がある。カレッタは、「自然と人間の共存」をテーマにした世界でも珍しいウミガメの博物館だ。ウミガメの進化の過程をはく製などでわかりやすく展示するほか、生きたウミガメの生態を観察できる水槽もある。大浜海岸の景観もすばらしい。
●海部郡美波町大浜海岸 ☎0884-77-1110

岬でひと風呂



かもだ岬温泉保養センター

岬に向かう道の高台にある。やわらかな泉質を持つ天然温泉で、自慢の露天風呂では、開放感いっぱいには大小さまざまな島と雄大な太平洋を眺めながらこちらから寛げる。
●阿南市椿町船瀬60-2
☎0884-21-3030

ついでにちよっと! 小腹グルメ

「あ!なんバーガー」が旨い!
フライした地元特産のシラスと自家製タルタルソースが絶妙な取り合わせ。パンズのかわりにナンでサンドしたご当地バーガーは、味はもちろん、シャレ気もいい。かもだ岬温泉で味わえる。



●写真提供/阿南市

四国最東端、ウミガメの岬

蒲生田岬

未知にであう道をいこう
徳島県
阿南市

ドライブデータ ●大阪/神戸方面から「神戸淡路鳴門自動車道」利用、195.8km/164.3km
●広島・岡山方面から「瀬戸中央自動車道」利用、329.4km/196.0km
※出発地中心部から灯台周辺までの距離

📍=ビューポイント 🏠=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 🌊=温泉

岬の立ち寄りスポット



道の駅・みなとオアシス 八幡浜みなと
 地元の産直野菜や特産品が集う「アゴマルシェ」、水揚げされたばかりの旬の魚が仰天の安さの「どーや市場」、新鮮な魚介グルメや当地のソウルフード・八幡浜ちゃんぽんがうまい「どーや食堂」に、情報発信基地の「みなと交流館」がある。佐田岬に向かうランドマークだ。
 八幡浜市沖新田1581-23
 0894-21-3710(みなと交流館)



佐田岬灯台クルージング
 豊予海峡の潮流、岬の砲台など、岬の先端まで行ける。船上からでしか見られない絶景ポイントを眺め、岬先端の交流施設にも上陸できる。このほかにも、海上サイクリングからBBQなど、岬のまちならではのアクティビティも多彩にある。
 西宇和郡伊方町三崎576
 0894-21-2247
 (特定非営利法人さだみさき夢希会)

岬でひと風呂



伊方町健康交流施設 亀ヶ池温泉
 地底1500mの火山岩と鍾乳石の地層から噴き出した良質のお湯がやさしく疲れを癒してくれる。無料の足湯もうれしい。
 西宇和郡伊方町二見甲1289
 TEL.0894-39-1160

ついでにちょっと! お土産&小腹グルメ



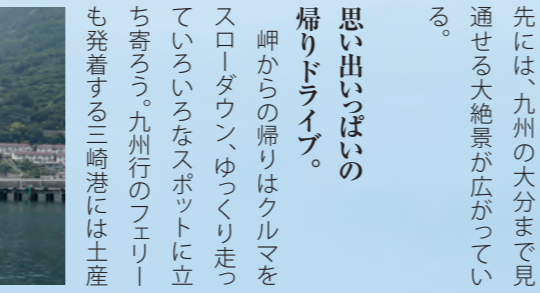
愛媛といったらやっぱりみかん。
 超安値の魚介類もオススメだが、佐田岬でどこに立ち寄っても充実ぶりが目に付くのが、やはりみかん製品。ドリンク、ジャムからスイーツまで選ぶのが楽しい。道の駅「瀬戸農業公園」などで。
じゃこ天、じゃこカツをパクリ!
 佐田岬ではずせないのが、揚げたてがうまいじゃこ天だ。のぼりが立つ店でアツアツをほおばろう。その進化形じゃこカツは、「伊方きらら館」前にある店が発祥店だ。

八幡浜から二気に岬まで。四国の最西端にある灯台には、太陽が昇り切る前の朝のつちにいくのがいい。さすが日本最長、少し時間はかかるがクルマの窓から見える景色は飽きることがない。



先には、九州の大分まで見通せる大絶景が広がっている。産物を選ぶなら道の駅「瀬戸農業公園」がオススメだ。帰り道のお楽しみ「メロディ

思い出さばいいの帰りドライブ。岬からの帰りはクルマをスロウダウン、ゆっくり走っているいろいろなスポットに立ち寄り。九州行のフェリーも発着する三崎港には土産



ライン」があるのもこの辺り。クルマの窓を開けて走れば、おなじみの曲が聞こえてくる。岬めぐりの思い出土産をもらった気分だ。そのほか、海の方に下れば、当地の名物が味わえる「シラスパーク」や天然温泉の「亀ヶ池温泉」など、旅の楽しみを膨らませてくれる。



1.8キロの絶景ハイクを楽しむ。

道路の終点にある駐車場から灯台までは、片道1.8キロのハイキングコースになる。看板横の木々のトンネルを抜ければ、岬の右左に回り、変化に富んだ絶景スポットがぎっしり。体力があれば、チャレンジしてみたいが、アップダウンも多く、少々時間がかかるので無理は禁物。途中で雨もしのけないので天候も要注意だ。駐車場から眺望する四国最西端の灯台と岬の雄大さだけでも、感動十分だ。



細くながい 崎の先へ。日本一に行こう。

愛媛県の佐田岬は、北に瀬戸内海の伊予灘、南に宇和海を望み、豊予海峡に突き出した小槍のような半島だ。対岸の大分県佐賀関まではわずか16キロ、まさに四国最西端を実感できる。先端の灯台には、付け根部の八幡浜から全長およそ40キロのドライブ。小気味よく曲がる道をゆっくり走り走っていきましょう。



愛媛県 西宇和郡 伊方町

四国の最西端、日本最長の半島

佐田岬半島

ドライブデータ ●大阪 / 神戸方面から「神戸淡路鳴門自動車道」利用、437.4km / 405.9km ●広島方面から「西瀬戸自動車道」利用、321.2km ●岡山方面から「瀬戸中央自動車道」利用、294.9km ※出発地中心部から灯台周辺までの距離

📍=ビューポイント 🚣=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 🌊=温泉

佐田岬から寄りたいた、レトロでやさしい大人のまちを歩こう。

日本一長い半島ドライブのあとは感動の余韻を噛みしめられるまち歩きがオススメだ。ほんの少し足を伸ばせば、南予地方には大人の旅を楽しめる表情の異なるまちが出迎えてくれる。



旧街道をたどる。
造り酒屋に旅籠

宿場町

卯之町のまち

ゆるやかな坂道をたどれば、明石寺、開明学校に行ける。

江戸時代、南予の中心が宇和島城に変わり、その在郷町、宿場町と栄えたのが卯之町だ。旧街道沿いには、江戸中期から昭和初期の商家が軒を連ねるほか、このまちのシンボル開明学校など見どころが多い。

卯之町の間合わせ ☎0894-62-6437 (西予市観光協会)
ドライブデータ ●八幡浜から16.0km



宇和先哲資料館
江戸末期の蘭学者、二宮敬作や日本初の蘭方女医の楠本イネら先人を紹介。
☎0894-62-6700



開明学校 [重要文化財]
明治15(1882)年に建てられた国内最古の小学校。「明治の授業」体験もできる。
☎0894-62-1334



江戸、明治、大正。
歩くごとに風情が変わる。

城下町

大洲

『おはなはん通り』は、いまから50数年前に大人気だったNHKドラマの回廊に使われた。

古くから城下町として開かれた大洲では、通りごとにさまざまな時代の表情に出会うことができる。藩政時代の名残、養蚕や製糸業で栄えた昔の面影、そして赤レンガのハイカラな建物などがある。

大洲市の間合わせ ☎0893-24-2664 (大洲市観光協会)
ドライブデータ ●八幡浜から15.3km



明治の家並み
武家屋敷や海鼠(なまこ)壁の土蔵などにまじり、明治のまち並みが残るエリア。伊予の小京都の風情がある。
☎0893-24-2644 (大洲市観光協会)



うかい乗船場 [臥龍山荘下]
大洲肱川(ひじかわ)の鵜飼は日本三大鵜飼のひとつ。6月~9月中頃まで。
☎0893-24-2664 (大洲市観光協会)



卯之町の町並み
旧宇和街道のまち並みには、老舗旅館や造り酒屋に商家などが残る。国の保存地区にも指定される。



大洲城 戸田勝隆、藤堂高虎などが城主となった城。平成16(2004)年に復元された。☎0893-24-1146



臥龍山荘 (がりゅうさんそう)
肱川を望む景勝地に生かし、3000坪の中に日本の庭園美が広がる。
☎0893-24-3759



和紙や和蠟燭で
栄えた町並みを
ゆつくりウォーク。

格子と漆喰の町家

内子

旧街道沿いに南北約600メートル。切妻造の町家が続く。

内子は江戸時代から明治、大正にかけ、和紙や木蠟(もくろう)などで栄えたまちだ。白漆喰(しろしゅくい)の壁に海鼠(なまこ)壁、出格子に虫籠(みしこ)窓など、独特の意匠を凝らしたまち並みが続く。その商家や町家のほとんどが伝統的建造物で、国の保存地区にも選ばれている。町家や店などに立ち寄りながら、なだらかな坂道を下って内子座まで歩きたい。

内子町の間合わせ ☎0893-44-3790 (内子町観光協会)
ドライブデータ ●八幡浜から15.3km



木蠟(もくろう)資料館 上芳我邸(かみはがてい)
木蠟生産で財をなした本芳我家の分家屋敷。資料展示棟のほか喫茶もある。
☎0893-44-2771



町家資料館 [見学無料]
江戸時代の商家を復元、当時の暮らしぶりを紹介。ひと休みにも利用できる。
☎0893-44-5212 (八日市・護国町並保存センター)



本芳我家(ほんはながけ)
豪商、芳我一族の自家邸宅。建物は国の重文で、外観と庭園は見学できる。
☎0893-44-5212 (八日市・護国町並保存センター)



内子座
大正期に建てられた県下最古の芝居小屋。いまもイベントに活用される。
☎0893-44-2840

内子の伝統品

昔ながらの手仕事でつくる和蠟燭はしっとりやさしい。創業200年の老舗がいまも残る。1本の芯に蠟を丹念に塗り重ねて作る、根気いる手仕事を見学できる。内子のお土産なら、やさしい炎に癒される和蠟燭や鉄製燭台などがぴったりだ。

竹細工の職人さん。町歩きを教えてくれる。

内子のうまいもの

名物の鯛めしは、玉子を溶いた出汁醤油で味わう。鯛めしは愛媛県の郷土料理だが、地方によって食べ方が違う。南予地方では、ご飯の上に鯛の切り身をのせ、そこに出汁と玉子をかけて味わう。内子で食べるならコレがいい。

岬の立ち寄りスポット



津嶋神社

半島の付け根部に、沖にある小さな島に歩いて渡る神社がある。全国でも珍しい子どもの守護神として江戸時代から信仰が厚い津嶋神社だ。ただし渡れるのは8月の夏季大祭の2日間だけ。その日は全国から子ども連れの参拝者が訪れる。

〒三豊市三野町大見甲
☎0875-56-5880(三豊市観光協会)



紫雲出山(しうでやま)遺跡館

弥生時代のもとのとされる高地性集落の遺跡がある。竪穴式住居や高床式倉庫を復元するほか、発掘された土器、石器など展示して興味深い。喫茶コーナーもある。

〒三豊市詫間町大浜乙451-1
☎0875-84-7896

岬でひと風呂♨



道の駅「ふれあいパークみの」天然いやだに温泉大師の湯

物産館や公園なども併設した道の駅の中心施設が「いやだに温泉」だ。三豊平野から讃岐山脈まで一望できる露天岩風呂(※女湯)など多彩な風呂に、サウナや温泉プールもある天然温泉施設で、ドライブ疲れは一気に解消できる。食事や宿泊にも利用できる。

〒三豊市三野町大見乙74 ☎0875-72-2601

お土産 & 小腹グルメ



幸せ運ぶお菓子をおすそ分け。コロコロと小さな七色の玉が可愛い「おいり」は、西讃地方では婚礼時の定番菓子。口に入れたとたん、ふわりとろける繊細な口どけが楽しい。幸せのおすそ分けができる。

山下おいり本舗
〒三豊市高瀬町新名1018-20
☎0875-72-5438

B級グルメのキング、たこ判。

「もっと大きなたこ焼きが食べたい!」と地元の学生たちのリクエストから、たこ焼と大判焼きがコラボして生まれた。目玉焼きもサンドして、ボリュームも満点。1個100円台の安さもうれしい。

元祖たこ判 小前
〒三豊市仁尾町仁尾幸33-9
☎0875-82-3189

詫間港、須田港と漁港を眺めながら東側の道をいこう。まず山道へ入ったフラワーパーク浦島でクルマを止めたい。穏やかに広がる海をバックに初夏ならマーガレット、秋ならコスモスが一面に咲き誇る。



ぐるり半島を周遊しよう。西の燈灘(ひうちなだ)、東の備讃瀬戸(びざんせと)。ふたつの海を分ける庄内半島は、走るうちにいろいろな表情の風景に会える魅力あるドライブコースだ。

岬の灯台にはクルマではいけない。室浜(むろはま)や仁老浜(にらほま)から歩くことになる。ここからは、半島の西側へ、紫雲出山(しうでやま)を目指してハンドルを切ろう。駐車場からは山頂展望台への道をもうひとつふんばり。春には満開の桜が、初夏には色鮮やかなアジサイが出迎えてくれる。展望台からは、太陽の光を浴びて輝く瀬戸、夕日を受けてロマンチックに染まる瀬



戸、時間ごとに異なる感動ビューと対面。喫茶で一息ついたら隣の紫雲出山遺跡館も訪ねてみよう。浦島伝説が残る道を作る。海岸線と寄り添うように走る西側の道は、いろいろな小島が次々に現れる。そのひとつが鴨之越(かもこのし)から見える丸山島だ。ここには浦島太郎を祀る浦島神社がある。目を凝らせば、島の先にある太郎の像がわかる。

庄内半島のクルマ旅。竜宮城を訪れた太郎のように、ここを走った人にしか分からない感動の玉手箱を持ち帰れることだろう。

地名に浦島伝説の名残!

市街地から岬に向かう橋で、亀にまたがった太郎が出迎える庄内半島。「箱(はこ)」「積(つむ)」に「紫雲出山(しうでやま)」など、ちょっと変わった地名が多い。浦島伝説の名残だ。箱は玉手箱を開けた場所、積は太郎が竜宮城から宝を持って着いたところ、紫雲出山は玉手箱から立ち上った白い煙が紫色の雲になってたなびいた山とか。そして太郎が亀を助けたという鴨之越対岸の丸山島にあるのが浦島神社だ。



浦島太郎が残したお宝スポットを訪ねよう。

瀬戸大橋の香川県側の起点・坂出から西へ向かう。この辺りは金刀比羅宮や四国八十八カ所の名刹、善通寺や観音寺など見どころが目白押しだ。庄内半島は多島美に魅せられる絶景の宝庫。ここに残る浦島伝説も楽しみながら、ゆっくり走ろう。



半島の東側と西側では景観がガラリ変わる。ともに海を間近に感じられて、爽快だ。

浦島伝説と多島美の岬。

庄内半島

香川県 三豊市

●大阪/神戸方面から「神戸淡路鳴門自動車道」利用、243.0km / 211.5km
●広島/岡山方面から「瀬戸中央自動車道」利用、220.9km / 87.9km
※出発地中心部から灯台周辺までの距離

📍=ビューポイント 🚣=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 ♨️=温泉

●写真提供/三豊市観光協会

荘内半島のおひざ元のまちを、お遍路さん気分で歩こう。

岬に向かう道でも白装束に出会うことが多い。総本山善通寺を筆頭に曼荼羅寺(まんだらじ)、出釈迦寺(しゅっしゃかじ)に観音寺など、まさにこの辺りはお遍路さんの地だ。クルマを止めて歩こう。



六十九番札所

観音寺

1寺2霊場の札所へ。

琴弾の浜から

奈良時代に日証上人(にっしょうしょうにん)が琴弾宮(ことびきぐう)の別当として開山した名刹だ。その後、弘法大師がここに観世音菩薩を安置し、七堂伽藍を建てて観音寺と名を変えた。神仏分離で琴弾八幡宮から別となった六十八番の神恵院と一か所になったため、四国唯一の1寺2霊場になった。そんな古刹に見守られた市街地は、のどかな時間が流れる。

●観音寺市八幡町1-2-7 ☎0875-25-3871(観音寺)・0875-24-2150(観音寺市観光協会)
ドライブデータ ●三豊鳥坂から13.1km



琴弾公園
白砂青松の有明浜に接し、約48ヘクタールの広さを持つ名勝地。園内には多彩な名所、旧跡が点在し、ゆっくり散策できる。
☎0875-25-3828



琴弾八幡宮
琴弾公園入口にある。本殿は大鳥居から381段の石段を上ったところにある。
☎0875-25-3828



世界のコイン館
日本と世界の貨幣や硬貨が集まるミュージアム。珍しいコイン、古銭も展示。
☎0875-23-0055



琴弾廻廊(ことびきかいろ)
琴弾浜を望み、6つの野天風呂、2つの内湯を巡る開放感いっぱいの人気温泉。
☎0875-24-4567



観音寺のまち並みも情緒たっぷりだ。



七十五番札所総本山

善通寺

弘法大師誕生の地で、しあわせ祈願。

創建は大同2(807)年。真言宗善通寺派の総本山、善通寺は唐から帰国した空海が長安の清龍寺をお手本に建立した名刹だ。その善通寺を中心にまちが広がる。かつて明治時代の富国強兵策で陸軍の師団が置かれ、軍人・乃木(のぎ)大将も足跡を残した。明治ロマンが香るノスタルジックな洋風建築も訪ねてみよう。

●善通寺市善通寺町3-3-1 ☎0877-62-0111(善通寺)・0877-63-6315(善通寺市観光協会)
ドライブデータ ●三豊鳥坂から7.2km



善通寺市観光交流センター
善通寺の観光情報ならここで。お遍路さんとの交流拠点にもなっている。
☎0877-64-1250



旧善通寺偕行社(かいこうしゃ)
旧陸軍将校の社交施設だった。ルネサンス様式の館内にはカフェもある。
☎0877-63-6362



乃木館[陸上自衛隊善通寺駐屯地資料館]
威厳に満ちた明治の名建築。「乃木記念館」も見学できる(要予約)。
☎0877-62-2311(駐屯地広報班)



兵器庫跡
明治時代の雰囲気漂わせる赤レンガの倉庫群は、旧陸軍の兵器庫跡。現在は自衛隊の施設として活用されている。

まち中には、こんなアーケードもある。

クローズアップ 銭型砂絵

琴弾浜に描かれた巨大な寛永通宝(かんえいいつうほう)の砂絵は、観音寺のランドマークだ。琴弾公園からすぐの象ヶ鼻(ぞうがはな)展望台から見れば、青々とした瀬戸内と美しいコントラストで浮かび上がる。東西122メートル、南北90メートル、周囲345メートルもある。一説には、寛永10(1633)年に造られたものとか。この銭型を見れば、健康で長生きできる、おカネに不自由なく暮らせるとされているから、しっかり見ておきたい。夜になればライトアップされ、がぜん幻想的だ。



観音寺のお土産

ご利益に期待を込め、おちやめなグッズをチョイス。

旅の記念にも遊びごころを効かせたい。寛永通宝のペーパーウェイトや小判など、おカネに不自由しないといわれる銭型砂絵を見た後なら、こんなアイテムもおもしろい。



善通寺のお土産

弘法さんにちなんだもの人気の定番。

上質の黄味あんを使った控えめな甘さが人気の灸まんは、こもりお灸のカチカチをした懐かしの伝統菓子。ほかにもお守りや弘法大師にちなんだもの的人气が根強い。



おなかが減ったら、コレがおすすめ。ご当地グルメでスタミナ補給。



ラーメン東大 沖浜店
☎050-5593-4054
(徳島市八万町沖須賀 60-6)

愛媛県
佐田岬

かき揚げ しらす丼

新鮮なしらすをたっぷり。



しらすパーク
☎0120-133-004 ※P6参照

漁港から直送。
旬のスター魚が
勢ぞろい。

広島県
とびしま
海道

海人丼

とびしま海道のある呉市はもともとは海軍のまち。各店で趣向をこらした海軍カレーが旨さを競う。

一歩、とびしま海道に入れば港まちが点在。やはり魚料理が人気だ。海人丼もそのひとつ。地元のリゾート基地として多くの人が集う「県民の浜」にある輝きの館のレストランでは、毎日漁港から届いたさまざまな魚が丼を彩る。何が出るかは、行ってみてのお楽しみだ。



そのほか、とびしま海道の人気名所「御手洗(みたらい)」では、港近くの船宿で自慢料理が味わえる。

輝きの館「レストランあび」
☎0823-66-1177
※P21参照

島ごぼん



岬の旅はグルメも楽しみ。地元食材を使った絶品たちが勢ぞろい。

兵庫県
万葉の岬

焼き穴子丼

香ばしさとボリュームに大感動。

王道ラーメンで、岬を目指そう。
徳島
徳島県
蒲生田岬

ラーメン

蒲生田岬近くでは、残念ながら元めしの店がなかなか見つからない。そんなときのために徳島市街地から走る国道沿いの店で、徳島ラーメンをお腹におさめておこう。

すき焼きのタレを思わせる豚骨の旨みが効いた濃口醤油ベースの出しが特徴だ。ラーメン好きにはすっかりおなじみになったこの当地麺は、まずそのままコッテリ感を味わったら、生たまごを後のせし、ぐつとまろやかな味を楽しむ。食いしん坊なら替え玉もある。

山岬 めし



超人気

さすが「うどん県」、激安に感動。

モーニング うどん

香川県
庄内半島

庄内半島のある三豊市詫間港辺りには、とれとれの魚料理が格安で食べられる店も数多い。早朝から張り切って走るなら、地元のお店でエネルギー補給を済ませるのもいい。

さすがは本場だけに、市街地から岬にいく道沿いにもうどん店の看板がいたるところで目に触れる。気になった店に入ってみるのも、旅の醍醐味だ。モーニングサービスの時間帯なら、激安で食べられる。また港なら地魚料理や海鮮丼を楽しむ。旬ならではのうまさには会えるだろう。



高知県
横浪半島

須崎鍋焼き ラーメン

和風鶏ガラ醤油に細打ち麺。

高知といえば、真っ先に思い当たるのがかつお料理。でもドライブ前のちよっとした腹でしらすなら、横浪半島の起点になる須崎の名物ラーメンがぴったりだ。

漁から陸に上がった漁師たちが空腹を満たし、暖をとるために考案して生まれたとか。あつさりした鶏ガラスープに細めの麺がちょうどいい。やっぱり本場ならではの葉焼きのかつおのたたきもオススメだ。もちろん極旨。また、横浪半島は伊勢海老料理が有名だ。漁港の民宿や専門店などで楽しめる。(※要予約)



道の駅「かわうその里すさき」
☎0889-40-0004 ※P17参照



相生市立水産物市場
☎0791-23-1501 ※P25参照



岬の立ち寄りスポット



道の駅「かわうその里すさぎ」

横浪半島に向かう須崎市側の起点。四国で最大級の広さを誇る。土佐の銘菓、野菜・果物、地酒、海産物に名物のかつおのタキが薫焼きで実演販売する。レストランでは、地元ならではの鍋焼きラーメンや土佐井が食べられる。

〒須崎南下分甲263-3
☎0889-40-0004



帷子崎展望台(かたひらさきてんぼうだい)

絶景が続く横浪半島でいちばん大きな眺望エリアがここ。さらに上から太平洋を一望したいのなら、道を隔てた山の上の展望台にもいける。売店もあり、ドライブでひと息入れたいときにはオススメ。

岬でひと風呂



土佐龍温泉 三陽荘

横浪半島の土佐側の竜ノ浜(ドラゴンビーチ)にある天然温泉の宿。目の前に広がる土佐の海を眺めながら良質の温泉を満喫できる。無料で足湯が利用できる。
〒土佐市宇佐町電504-1
☎088-856-0001

お土産 & 小腹グルメ



土佐土産の本命は焼カツオで決まり。

持ち帰りつらいタキに変えて、お土産にするなら、日持ちのする焼カツオがぴったりだ。極上の土佐の大トロを使い、そのままかつお飯にしても、サラダ、酢の物に使ってもいい。道の駅「かわうその里すさぎ」で買える。

高知名物のアイスクリンで疲れもさっぱりと。

高知スイーツの代表選手がアイスクリンだ。しゃっきりした口当たりはクリームというよりシャーベット。さっぱりした甘味が程いい、昔ながらの名物はドライブ休憩に食べたい。帷子崎展望台などで。



浦ノ内ではのんびりドライブ。ダイナミックな太平洋を望む横浪半島のもうひとつの魅力は、北側にある浦ノ内湾の景色だ。おだやかな内海に懐かしい漁村の風景がどこかに続く。釣り場にもことかなない。この辺りでのんびりと竿を伸ばそう。

太平洋と内湾。ふたつの表情が異なる海を楽しむ横浪のクルマ旅。思い出もきつと深いものになるだろう。



「日本百名道」にも選ばれた横浪黒潮ラインは、迫力ある絶景の連続だ。



半島の東西をつなぐ道をいく。横浪半島は、高知県の須崎市と土佐市にまたがる半島だ。岬をめぐるドライブのコース取りは、ふた通りある。高知市内から太平洋沿いの黒潮ラインを走り、宇佐大

橋を渡って東からたどるコース。もうひとつは西側の須崎から半島を東に走るコースだ。半島の尾根伝いに東西をつなぐ19キロの横浪黒潮ラインは、日本百名道にも選ばれ、絶景と快適なドライブを約束してくれる。青い空と海に緑の樹林が岬の風景に絶妙に溶け込んでいる。

車窓から見えるリアス式海岸が生み出す変化に富んだ景色の連続に、ついクルマを止めたくなるが、迷惑駐車は禁物。展望台に向かおう。

横浪黒潮ラインの中間点

瀨戸内の岬に対し、太平洋を望む高知県の岬はダイナミックな景観が魅力だ。岩礁と奇岩で海の難所とされる室戸岬、黒潮に洗われる四国最南端の足摺岬。四国を代表するふたつの岬のちよと真ん中辺りにあるのが、太平洋と内湾を分けるリアス式の横浪半島だ。「日本百名道」にも選ばれた道はいこつ。

豪快な太平洋、静かな内湾。ふたつの海を楽しもう。



龍馬の盟友、武市半平太

江戸末期に坂本龍馬や中岡慎太郎など土佐藩士が活躍したが、武市半平太(たけちはんぺいた)もそのひとり。江戸で土佐勤王党の中心となった。龍馬の遠縁に当たり、お互いを渾名で呼び合う仲だったようだ。最期は切腹を命じられてしまったが、武士の気概を買った郷里の英雄としていまも人気が高い。くろしお展望台には、その像が立っている。

リアス式海岸が生む雄大景観

横浪半島

未知であう道はいこつ
高知県
須崎市・土佐市

ドライバーデータ
●大阪/神戸方面から「神戸淡路鳴門自動車道」利用、335.9km/304.3km
●広島/岡山方面から「瀬戸中央自動車道」利用、330.8km/197.4km
※出発地中心部から横浪黒潮ライン入口付近までの距離
📍=ビューポイント 🐟=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 🌊=温泉

横浪半島からクルマで北上。奇跡の清流をたどるリバーサイドドライブ。

高知県は清流のふるさと。四万十川、吉野川とともに四国三大河川に数えられ仁淀川が流れる。横浪半島から北に向かい、日本で「水質が最も良好な河川」の一つと認められた“奇跡の清流”を訪ねよう。

美しい水のふるさとで、
仁淀ブルーに癒される。

奇跡の清流

仁淀川流域

に よど がわ

土佐市 ● いの町 ● 日高村 ● 佐川町 ● 越知町 ● 仁淀川町



思い思いのポイントで清流釣りが楽しめる。



水辺の駅「あいの里仁淀川」/いの町
地元名物の販売所。川を眺めながら仁淀の幸を味わえるレストランもある。
☎088-897-0097



小村神社(おむらじんじや)/日高村
土佐二の宮として有名、創建は用命2(586)年。樹齢千年を超える牡丹杉もある。
☎0889-24-7466



西日本の最高峰、愛媛県の石鎚山(いしづちさん)に端を発した仁淀川は延長124キロ、高知県の6市町村を経て太平洋に注がれる。美しい渓谷美、情緒あふれる沈下橋、山々の緑を川面に映す仁淀ブルーのすばらしさに癒されることだろう。その流域には太平洋に接した土佐市から和紙の里・いの町、起伏に富んだ景観の仁淀川町まで魅力スポットも多彩。川沿いを遡ろう。

☎0889-20-9511 (仁淀ブルー観光協議会)
ドライブデータ ●横浪半島・宇佐大橋から14.9km



道の駅「レストパークいの」/いの町
ドライブの起点。いの町の特産、高知の名産が揃う。レストランも完備。
☎088-893-4688



いの町紙の博物館/いの町
土佐和紙発祥の地の歴史と特色を展示紹介する。紙漉ぎ体験もできる。
☎088-893-0886



土佐和紙工芸村/いの町
体験型施設の工芸村に併設したシャレた「くらうど」は宿泊・食事も可能。
☎088-892-1001 (QRAUD・くらうど)



佐川上町の町並み/佐川町
国指定重要文化財の竹村家住宅など、江戸時代の商家や酒蔵が軒を連ねる。
☎0889-20-9500 (さかわ観光協会)



橋は生活道路。クルマがくれば、突き出た避難所待つ。

クローズアップ 橋風景 美しい自然に溶け込む4つの沈下橋と河口大橋を見にいこう。



名越屋(なごや)沈下橋/日高村
仁淀川の最下流の沈下橋。いの町と日高村を結ぶ。4ヶ所の待避所がある。



片岡沈下橋/越知町
仁淀川中流に架かる。この付近では、昔ながらの火振り漁も行われる。



浅尾(あそう)沈下橋/越知町
周囲を山々に囲まれている。映画やドラマのロケ地にもなった。



久喜(くき)沈下橋/仁淀川町
高知県に現存する最古の沈下橋で国の登録有形文化財に指定された。



仁淀川河口大橋/土佐市
河口付近は橋を望む公園から、仁淀川と広大な太平洋が一望できる。

仁淀の伝統品

世界も唸らせる土佐和紙の魅力に触れる。

土佐和紙の起源は千年以上前、延長5(927)年に天皇に献上したと記述がある。明治時代には吉井源太の技術改良で、飛躍的に発展した。そんな和紙を使ったカードや便箋にグッズなどがお土産に楽しい。いの町紙の博物館で手漉ぎ体験もできる。



仁淀のうまいもの

アユにツガニなど清流の恵みを楽しむ。

季節さえ合えば、やはりアユやアマゴ料理を味わいたい。地元の川がにのツガニ(モズクガニ)を丸ごとすりつぶした出汁で食べるうどんもいい。ほかにはない濃厚な味がうまい。



島から島へ。 飛ぶように走ろう。

広島県尾道から愛媛県今治まで続く「しまなみ海道」がすっかり有名になったが、その西側、呉市下蒲刈島から愛媛県今治市の岡村島まで小さな島々をつなぐ「とびしま海道」も見どころが多いおもしろいルートだ。飛び石を軽やかに飛ぶように7つの島を走ろう。

下蒲刈島から島旅スタート。

風光明媚な芸予諸島を渡る「しまなみ海道」に比べ、おだやかな安芸灘に浮かぶ小島の海沿いを走る「とびしま海道」のドライブは、何より潮の香りや風とひとつになる感じがいい。しまなみ海道のおよそ半分、約30キロのルートに旅の醍醐味がぎゅっしり詰まる。

まず、呉の市街地から安芸灘大橋を渡って下蒲刈島（しもかまがりじま）へ。唯一有料の橋だが、島々で飲食や買物すれば帰りの通行料は不要になる。

下蒲刈島は見どころが多い。島をまるごと庭園にしようとして整備が進み、三之瀬瀨戸を借景にした「松濤園（しょうとうえん）」ほか、松林の遊歩道に沿って美術館や情緒ある店々が並ぶ。

リゾートの島へ、眺めの島へ。

次の上蒲刈島（かみかまがりじま）は印象が一変。明るい日差しが似合うリゾート島だ。県民の浜には「輝きの館」「やすらぎの館」に天体観測館などがあり、多様なレジャーシーンを満たしてくれる。

隣りにある豊島では眺望が楽しみ。急斜面の狭い道を上るため、くれぐれも注意が必要だが、展望公園から



らの360度の大パノラマには大感激まちがいない。クルマを次の目的地に向けよう。とびしま海道でも人気が高い「御手洗みたらしい」のまちがある大崎下島だ。



海に浮かぶ小島を眺めながら海沿い道路を軽快に走る。



岬の立ち寄りスポット



三之瀬御本陣(さんのせごほんじん) 芸術文化館 / 下蒲刈島

この辺りは古くから瀬戸内をいく海上交通の要衝だった。三之瀬は当時「海駅」の役割を担い、多くの大名、幕吏、公家たちが宿泊所として利用した。また江戸時代には外交使節団「朝鮮通信使」を迎えるために、大きな役割を果たしている。いまは芸術文化館になっている。
●呉市下蒲刈町三之瀬311
☎0823-70-8088



蘭島閣(らんとうかく) 美術館 / 下蒲刈島

瀬戸内の美をテーマに、郷土ゆかりの作家から横山大観、福田平八郎など日本画の大家の作品までを展示している。格式ある本格木造建築で三之瀬のまちにしっかりと溶け込んでいる。
●呉市下蒲刈町三之瀬200-1
☎0823-65-3066

岬でひと風呂



輝きの館・やすらぎの館 / 上蒲刈島

とびしま海道最大のリゾート拠点「県民の浜」にある。「輝きの館」はレストラン・土産コーナー完備の宿泊棟、「やすらぎの館」は温浴施設だ。
●呉市蒲刈町大浦字沖浦7605
☎0823-66-1177 (輝きの館)
0823-66-1126 (やすらぎの館)

ついでにちょっと! お土産 & 小腹グルメ



古代からの逸品「藻塩(もじお)」

藻塩とは、海藻から取り出した塩のことで、まるやかな口あたりが特徴。上蒲刈では、古墳時代から日本の塩づくりの原点となった製塩法「藻塩焼き」があった。「であいの館」などで。

オレンジジュースとレモン菓子で一服。

ちょっと休憩したいときには、こんなにフレッシュコンビはいかが。ミカン、レモンの故郷らしく、新鮮なおいさでほっこりできる。大崎下島の御手洗(みたらしい)の休憩所などで。



●蒲刈島御番所など4棟と回遊式庭園を持つ「松濤園」。蒲刈島大橋が見える。

安芸灘 とびしま海道

瀬戸内に浮かぶ7つの島をつなぐ

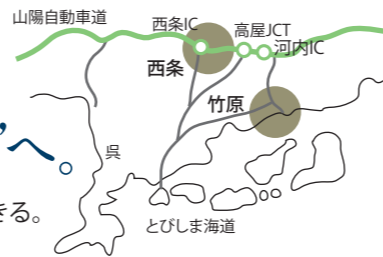
●大阪 / 神戸方面から「山陽道」利用、359.3km / 340.9km
●広島方面から36.9km ●岡山方面から「山陽道」利用、188.5km
※出発地中心部から下蒲刈島までの距離

📍=ビューポイント 🚗=釣りポイント 🍽️=食事・お土産・休憩所 🌿=温泉

未知にであう道をいこう
広島県
 竹原市・東広島市

島旅から“安芸の小京都”、西の“酒都”へ

ちょっと足を伸ばすなら、広島県の中央部へ。懐かしい時代へタイムスリップできる。



竹鶴酒造
 NHKの朝ドラ「マッサン」のモデル、竹鶴政孝の生家。昔からの酒造りを行う。
 ☎0846-22-2021 (竹鶴酒造)



竹原市歴史民俗資料館
 かつて図書館だった洋館に郷土の歴史、文化、暮らしの様子を展示する。
 ☎0846-22-5186



歴史民俗資料館横の広場には、竹鶴政孝とリタ夫人の像がある。



時間を忘れて歩く
 江戸時代のまち並み。

安芸の小京都
竹原
 たけはら

平安時代には京都下鴨神社の荘園だった竹原は、江戸時代になって製塩や酒造りで栄え、その遺産がいまに残り、風情ある小京都の佇まいを見せる。高台にある由緒ある寺、大屋根と漆喰の豪邸に意匠を凝らした竹格子の町屋。どの道にも見どころが多い。ここでは時間を忘れて、江戸時代の面影に浸ろう。

竹原の問合わせ☎0846-22-4331 (竹原市観光協会)
 ドライブデータ●とびしま海道・下蒲刈島から35.4km

普明閣(西方寺)
 京都の清水寺を模して建てられた観音堂。その舞台や境内からは竹原のまちが一望できる。
 ☎0846-22-7745 (竹原市産業振興課)

竹原の伝統品

竹原格子を楽しみながら、竹細工をひとつふたつ。

竹原の町家の一軒一軒では、変化のあるデザインが美しい独特の「竹原格子」が楽しめる。「まちなみ竹工房」では、竹かごや置物などを展示販売。カンタンな編み方も教えてもらえる。マドラーやナイフなど、ちょっとしたお土産にもいい。



西国街道の酒蔵を訪ねて。

酒の新都
西条
 さいじょう

酒蔵通り
 酒蔵通りレンガの煙突に白壁の通り。JR西条駅の周辺、西国街道沿いには7つの酒造元が建ち並び、散策が楽しめる。各酒蔵では見学も受付、試飲販売などもある。



西条酒蔵通り観光案内所
 路地をまたいで建つ。まん中の「くぐり門」の右が案内所、左はカフェ。
 ☎082-421-2511 (観光案内所)



御茶屋(本陣)跡
 江戸時代には宿場町と栄え、広島藩の領内では最大の本陣が置かれた。
 ☎082-421-2511 (観光案内所)



カフェでは名水で淹れたコーヒーにほっとひと息。

まちのアチコチに水が汲める井戸がある。



とびしま海道の北の対岸、東広島市の西条は酒造りのまちだ。明治時代から始まった吟醸造りは全国にも知られ、大正、昭和の初めには「酒都西条」と呼ばれるまでになった。冬の仕込みに適した気候、良質の地下水、そして安芸津杜氏(あきつとじ)。それらこの地ならではの恵みと知恵の賜だ。西国街道の酒蔵通りを歩こう。

西条の問合わせ☎082-420-0310 (東広島市観光協会)
 ドライブデータ●とびしま海道・下蒲刈島から35.5km



歴史の見える丘公園

展望台の近くには駐車場がある。左手に港とまち並みの保存地区、右手に瀬戸内の美景が見える。



ノスタルジックな島から ロマンティックなしまなみへ。

とびしま海道ドライブのフィナーレは、東端に位置する岡村島。この島だけが愛媛県側に当たる。ノスタルジックな気分になりながら、ここからは来た道を戻り、市街地に向けて戻るか、フェリーを利用することになる。乗場からしまなみ海道の大三島や四国愛媛県の今治港までに行ける。時間にゆとりがあるなら、小島を跳めながらの約80分のこの船旅がオススメだ。夕陽に染まるしまなみ海道の来島海峡大橋の姿は、旅心をよりいっそうロマンティックなものにしてくれる。



「風まち、潮まち、港町」を歩く。
 大崎下島の御手洗(みたらし)は、瀬戸内の中央にあることで、江戸時代は中継貿易港として栄えた。ここでは時間をかけて、往時の面影を宿した佇まいのまちを歩きたい。入り組んだ迷路のようなまち並みは情緒に、かつての繁栄を示すかのようなハイカラな時計店や映画館がいまも残る。一方、海沿いは土産品の店



や船宿を旅館や食事処に改修した店が軒を連ねる。先に進めば、御手洗のランドマークになっている高灯籠と太鼓橋が目にとまる。旅の思い出を残す写真ポイントにオススメだ。
 このまちを一望するなら「歴史の見える丘公園」の展望台へ行こう。人が集い、ものが集まり、文化が育った華



やかな時代からゆっくり時間を刻んだ御手洗のまちが眼下に広がる。とびしま海道ドライブの余韻に浸るにはうってつけの景色だ。
 ゆったりとした時の流れに身を委ねるとびしま海道の旅。また、いつか戻って来なくなる、そんな風景と時間に出会えることだろう。



高灯籠と太鼓橋の先は県の重要文化財に指定される住吉神社。港に突き出した「千砂子波止(ちさごはど)」は江戸時代の波止場を修復したもの。

岬の立ち寄りスポット



赤穂城跡と大石神社

浅野内匠頭長直(あさのたくみのかみながのり)によって、慶安元(1648)年から13年を費やして築かれた。近世の城郭史上でも珍しい変形輪郭式の平城で、白亜の隅櫓が美しい。また、大石内蔵助(おおいしくらのすけ)をはじめ、義士を合祀する大石神社もすぐそばにある。

赤穂城跡/赤穂市上飯屋、0791-43-6962
大石神社/赤穂市上飯屋129.0791-42-2054



坂越のまち並み

かつて町を守るためにあった木戸門跡から港まで、板塀、白壁が美しいまち並みを、ゆっくり風情を楽しみながら歩きたい。名所、旧跡、特産品などの観光情報は坂越まち並み館で手に入る。

坂越まち並み館/赤穂市坂越1446-2
0791-48-7770

岬でひと風呂



絶景露天風呂の宿 赤穂温泉「銀波荘」

伊和都比売神社の前、御崎のプロムナードコースの入口に建つ絶景の宿だ。まるで海と空につながるような湯船から見る景色は圧巻。感動的な日帰り入浴もできる。

赤穂市御崎2-8 0791-45-3355



道の駅・海の駅「あいおい白龍城(ペーロンジョウ)」

中国で紀元前300年ころに始まったと龍船(白龍)競漕が、長崎を経て伝わった「ペーロン祭り」は、相生のシンボルイベント。目を引く中国風の館内では、競技用の船を保管・展示するほか特産品の販売、レストランを併設する。とくに人気なのが、相生湾を一望する露天風呂もあるペーロン温泉。旅の疲れを癒そう。

相生市那波南本町8-55 0791-23-5995

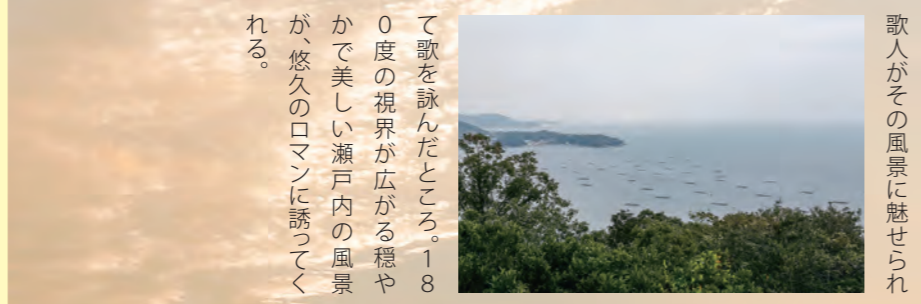
お土産 & 小腹グルメ



赤穂といえば、塩味まんじゅう。塩のまちの定番土産。控えめな甘さとほどよい塩加減が、品よくマッチ。ひと口食べれば、懐かしい気持ちにしてくれる。お城近くの店で、お茶とともにほっこりしたい。



坂越から万葉の岬へ。赤穂を旅したなら、お隣にある相生市の万葉の岬も訪ねてみたい。そのドライブ途中で立ち寄りたいのが坂越(さかひ)のまち。ここは江戸時代には西廻り航路の港として多くの廻船を擁して栄えたところで、懐かしい佇まいを見せるまち歩きが楽しい。南北に長い市域を持つ相生は、牡蠣の養殖やペーロンまつりで知られるが、かつては日本有数の造船地帯だった。湾の付け根部分にある相生のランドマーク、道の駅・海の駅「あいおい白龍城(ペーロンジョウ)」から岬ま



て歌を詠んだところ。180度の視界が広がる穏やかで美しい瀬戸内の風景が、悠久のロマンに誘ってくれる。

ではすぐだ。この岬は、山部赤人(やまべのあかひと)らの万葉歌人がその風景に魅せられた。

縁結びの神様、伊和都比売神社(いわつひめじんじや)から海側に道をくだる遊歩道がある。ピンクの小石を敷いたベンチで肩を寄り添わせる「恋人の聖地」、ふたりの願いをかなえるという「たみ岩」などが点在する。熟年世代でも、ふたりしてのんびり歩けば、ちょっぴり甘い青春時代を思い出せそうだ。

市街地からも近い赤穂御崎は、瀬戸内の絶景を見晴らす道に沿って温泉旅館が建ち並び、海に沈む夕陽を目当てに多くの観光客が訪れている。若いペアにも人気が高く、とりわけ平安時代から若い男女による姫神信仰が続く伊和都比売神社(いわつひめじんじや)は、縁結びにご利益があるとされ、その周辺は恋人たちの散歩道になっている。ゆったりと温泉の湯に浸かって、夕日を眺めよう。ロマンティックな絶景ショーに、時のたつのも忘れてしま

らではの風情ある顔とともに、「日本の夕陽百選」にも選ばれるロマンティックな顔を持つ。

夕日の名所、赤穂御崎。赤穂市は「四十七士」の赤穂浪士で全国的にも知られるまちだ。ここは城下町な

自然が生んだ絶景のアート。瀬戸内の岬めぐりは、まるで大きな美術館を楽しむ旅だ。兵庫県の南西部、播磨灘に面した赤穂御崎と相生の万葉の岬も、異なる趣きで目とところを楽しませてくれる。昼から夕暮れに移り変わる名画に感動しよう。

夕日の名所、赤穂御崎。赤穂市は「四十七士」の赤穂浪士で全国的にも知られるまちだ。ここは城下町な

市街地からも近い赤穂御崎は、瀬戸内の絶景を見晴らす道に沿って温泉旅館が建ち並び、海に沈む夕陽を目当てに多くの観光客が訪れている。若いペアにも人気が高く、とりわけ平安時代から若い男女による姫神信仰が続く伊和都比売神社(いわつひめじんじや)は、縁結びにご利益があるとされ、その周辺は恋人たちの散歩道になっている。ゆったりと温泉の湯に浸かって、夕日を眺めよう。ロマンティックな絶景ショーに、時のたつのも忘れてしま

いそうだ。

ロマンティック岬をはしご旅

赤穂御崎 相生万葉の岬

●大阪/神戸方面から「山陽道」利用、133.4km/114.9km
●広島/岡山方面から「山陽道」利用、213.1km/65.3km
※出発地中心部から赤穂御崎までの距離

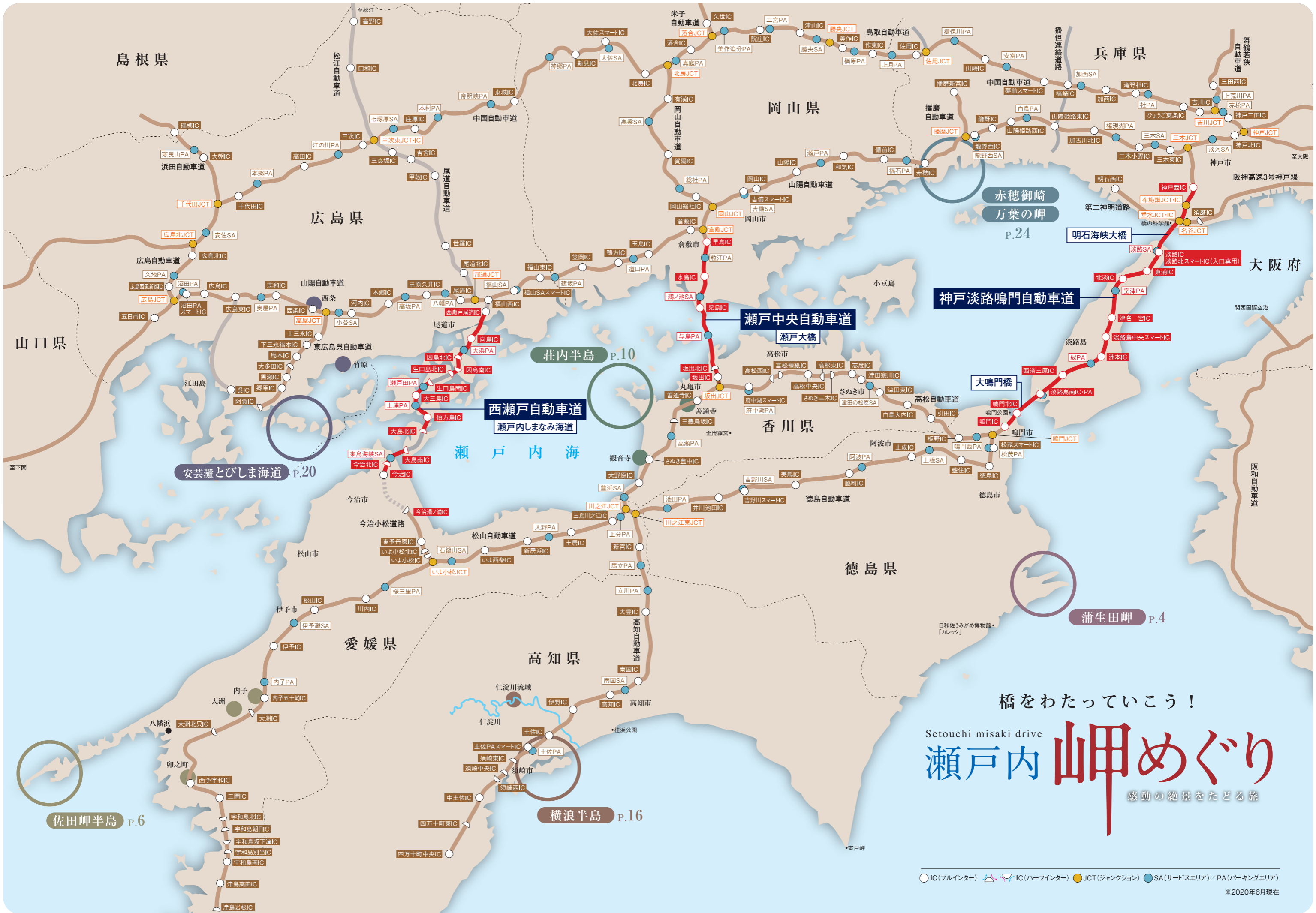


夕日と万葉ロマン。 播磨灘のアート岬に。

兵庫県 赤穂市・相生市

赤穂御崎 相生万葉の岬

ドライブデータ ●=ビューポイント ●=釣りポイント ●=食事・お土産・休憩所 ●=温泉



赤穂御崎
万葉の岬
P.24

荘内半島 P.10

安芸灘とびしま海道 P.20

蒲生田岬 P.4

横浪半島 P.16

佐田岬半島 P.6

橋をわたっていこう！
Setouchi misaki drive
瀬戸内山甲めぐり
感動の絶景をたどる旅

○ IC(フルインター) △ IC(ハーフインター) ● JCT(ジャンクション) ● SA(サービスエリア) / PA(パーキングエリア)
※2020年6月現在